

(別添様式3)

研究機関名：国立大学法人広島大学

競争的研究費の直接経費からの研究代表者(PI)の人件費支出に係る
活用実績報告書（令和7年度）

1. 実施状況

①事業名	②直接経費から 人件費を支出し た、所属PIの人 数（人）	③所属するPIに ついて、直接経費 から支出した人件 費の総額（円）	④所属するPIについて、 直接経費から人件費を支 出したことにより確保し た財源の総額（円）
AMED スマートバイオ創薬等 研究支援事業	2	2,646,000	2,646,000
AMED ワクチン・新規モダリ ティ研究開発事業	1	943,000	943,000
AMED 革新的がん医療実用化 研究事業	1	1,629,000	1,629,000
AMED 難治性疾患実用化研究 事業	3	2,890,000	2,890,000
AMED 臨床研究・治験推進研 究事業	2	4,601,000	4,601,000
AMED 国家課題対応型研究開 発推進事業 脳神経科学統合 プログラム	1	1,320,000	1,320,000
ERCA 環境研究総合推進費	1	2,217,000	2,217,000
JST 研究成果展開事業	4	8,839,000	8,839,000
JST 先端国際共同研究推進 事業	1	830,000	830,000
JST 戦略的創造研究推進事 業	5	5,349,000	5,349,000
JST 創発的研究支援事業	13	8,320,000	8,320,000
JST 日 ASEAN 科学技術・イ ノベーション協働連携事業	1	1,200,000	1,200,000
NEDO 戦略的イノベーション 創造プログラム（SIP）	4	7,086,000	7,086,000
NEDO 太陽光発電導入拡大等 技術開発事業	1	1,300,000	1,300,000
合計	40	49,170,000	49,170,000

2. 確保した財源の使途、具体的な活用内容、効果等

研究者に対して、直接経費から支出した人件費を給与水準の向上のために使用し、当該研究者の処遇改善、モチベーションの向上に寄与した。

その効果として、当該研究の研究意欲向上を図り、当該研究者が安定して研究に専念できる環境が整備され、本年度の研究成果の進展に大きく寄与した。

3. 策定した活用方針や活用実績を公表している研究機関のホームページ等の URL を記載してください。なお、各研究機関における研究力向上に向けた実施事例については、好事例として政府のホームページでも公表させていただく場合があります。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/research/pi>